



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

学校探検

5月9日(月)に、2年生が、1年生を学校の中を案内する学校探検が行われました。グループに分かれて、2年生が1年生をリードして様々な教室を案内しました。教室を見つけ終わると、ワークシートに書かれた教室名の所にスタンプを押したり、番号とともに教室に提示されている一文字をワークシートに書かれている番号の所にその文字を書き入れたりしていきます。文字を読んだり書いたりする学習を行いながら、見通しをもって活動していました。

ワークシートにどう書いていいかわからない1年生に、優しく書くところを説明していたり、そばで温かく見守っていたり、スタンプを使った後に蓋をし忘れた1年生のフォローをしたり、落としたり消しゴムを拾ったり、活動が終了すると教室まで見送ったり等、昨年度一番小さかった子供たちが相手の動きに合わせて行動する姿に成長を感じ、心が温まりました。

2年生が作った折り紙の手裏剣を嬉しそうに手に持っていた1年生。「中休みにブランコで待ち合わせしよう」と1年生に声をかけていた2年生。学習を通して繋がりが生まれ、新たな心の交流が図られています。

避難訓練

5月10日(火)に、地震が起きた後に、給食室から出火したことを想定した避難訓練を行いました。高学年が手本となる姿を見せてくれました。素早い動きとともに、

話をせずに真剣に取り組む姿が本当に素晴らしいかったです。

国土交通白書2020によると、南海トラフ地震(マグニチュード8~9クラス)の30年以内の発生確率が70~80%、首都直下地震(マグニチュード7クラス)の30年以内の地震の発生率は70%と予測されているとあります。

地震はいつ起こるか分かりません。今回訓練で行ったことが生かせるように、一つ一つの行動の意味を振り返って考えるよう促しました。なぜ机の下に隠れるのか、なぜハンカチで口をおさえ、低い姿勢で移動するのか、なぜ校庭に避難する時にそのルートを通ってきたのか、お(おさない)・は(はしらない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)の約束を守らなかったらどうなるのか、子供たちに問いかけました。そして、大事なことは「自分の命は自分で守る」ことであり、大きな地震が起きた時に、「落ち着こう。自分の命を守るんだ」と自分に話しかけてほしいと伝えました。

よく校長室に顔を出してくれる2年生に避難訓練の翌日に、どんなこと考えたか聴くと、「物のそばには行かない」「ガラスのそばに行かない」「物があっても置いて逃げる」「自転車のヘルメットを使う」「頭を守るためにランドセルを使いたい」「持っていく物を用意しておく」等、考えたことをたくさん話してくれました。

ぜひ、御家庭でも、みんなの命を守るためにできることは何かについて話し合いをもっていただき、子供たちともに考えていただけたらと思います。